

平成23年三重県消費者物価指数の動向

1 概要

三重県…平成23年平均の三重県消費者物価指数は、平成22年を100とした総合指数で100.1となり、前年に比べ0.1%の上昇でした。

また、持家の帰属家賃を除く総合指数は100.1で、前年に比べ0.1%の上昇でした。

全国…平成23年平均の全国消費者物価指数は、平成22年を100とした総合指数で99.7となり、前年に比べ0.3%の下落でした。

また、持家の帰属家賃を除く総合指数は99.7で、前年に比べ0.3%の下落でした。

平成12年からの三重県消費者物価指数の動きを総合指数でみると、平成12年から平成14年までは下落し、平成18年から平成20年までは毎年上昇しました。平成21年から平成22年は下落し、23年は上昇しました。(図1、表1、統計表第1表)

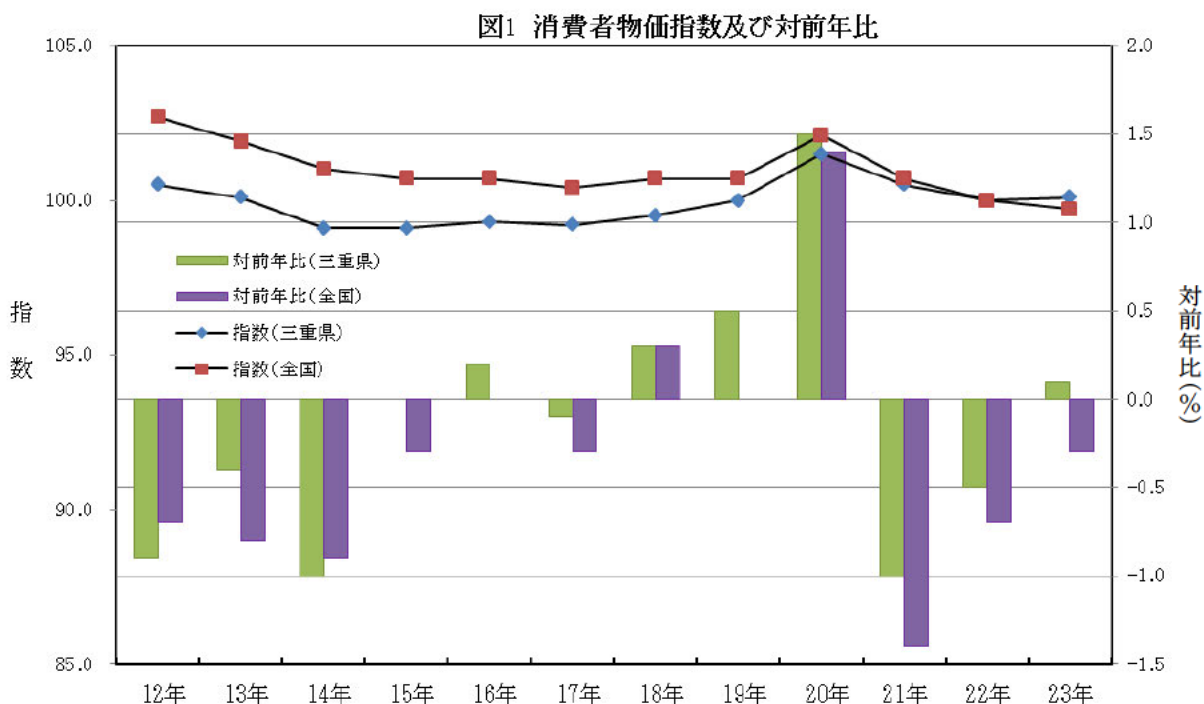


表1 総合指数と対前年比の推移

年	三重県				全国				三重県				全国				
	総合	対前年比 (%)	対前年比 (※)	対前年比 (%)	総合	対前年比 (%)	対前年比 (※)	対前年比 (%)	総合	対前年比 (%)	対前年比 (※)	対前年比 (%)	総合	対前年比 (%)	対前年比 (※)	対前年比 (%)	
平成12年	100.5	-0.9	101.5	-1.0	102.7	-0.7	103.1	-0.9	平成18年	99.5	0.3	99.7	0.3	100.7	0.3	100.6	0.3
平成13年	100.1	-0.4	100.8	-0.7	101.9	-0.7	102.2	-0.9	平成19年	100.0	0.5	100.1	0.4	100.7	0.0	100.7	0.1
平成14年	99.1	-1.0	99.8	-1.0	101.0	-0.9	101.0	-1.1	平成20年	101.5	1.5	101.9	1.8	102.1	1.4	102.3	1.6
平成15年	99.1	0.0	99.6	-0.2	100.7	-0.3	100.7	-0.3	平成21年	100.5	-1.0	100.5	-1.4	100.7	-1.4	100.8	-1.5
平成16年	99.3	0.2	99.6	0.0	100.7	0.0	100.7	0.0	平成22年	100.0	-0.5	100.0	-0.5	100.0	-0.7	100.0	-0.8
平成17年	99.2	-0.1	99.4	-0.2	100.4	-0.3	100.3	-0.4	平成23年	100.1	0.1	100.1	0.1	99.7	-0.3	99.7	-0.3

※ 持家の帰属家賃を除く総合：持家の帰属家賃は、持家の住宅を借家とみなした場合に支払われるであろう家賃を推計したもので、

実際の市場価格ではないので、特にこれを除外した「持家の帰属家賃を除く総合指数」を示しています。

2 年間の動き

平成23年における三重県消費者物価の総合指数の動きについて、月別に対前月比及び対前年同月比をみると、次のとおりでした。(表2、表3、図2、統計表第2表)

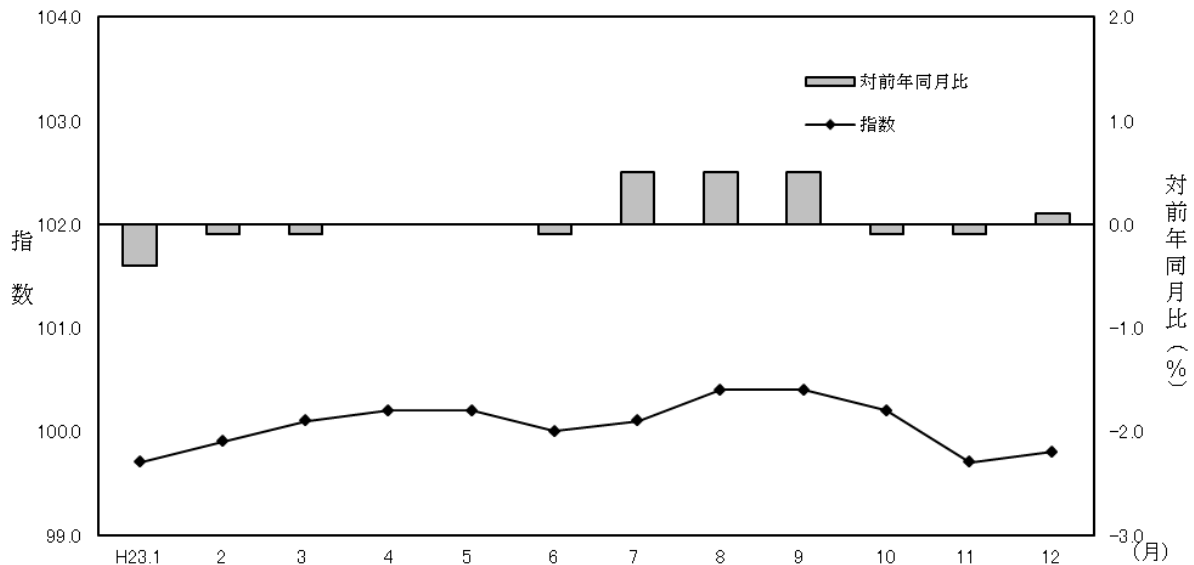
表2 三重県の総合指数・対前月比と主な変動費目

月	総合指数 (対前月比 (%))	上昇した 主な費目 (対前月比)		下落した 主な費目 (対前月比)		(参考)		
						全国総合指数 (対前月比 (%))	持家の帰属家賃を 除く総合 (対前月比 (%))	
							三重県	全国
1月	99.7 (0.0)	果物 8.9% 他の光熱(灯油) 8.9% 家庭用耐久財 3.1%	シャツ・セーター・下着類 -4.5% 他の被服類 -4.5% 衣料 -3.6%	99.5 (-0.1)	99.7 (0.0)	99.5 (-0.1)		
2月	99.9 (0.2)	教養娯楽用耐久財 11.2% 他の光熱(灯油) 3.0% 野菜・海藻 3.0%	寝具類 -3.1% 他の被服類 -2.5% 穀類 -2.1%	99.5 (0.0)	99.9 (0.3)	99.5 (0.0)		
3月	100.1 (0.2)	他の被服類 7.3% 他の光熱(灯油) 4.3% 衣料 3.2%	教養娯楽用耐久財 -7.7% 果物 -4.2% 家庭用耐久財 -3.8%	99.8 (0.3)	100.2 (0.3)	99.8 (0.3)		
4月	100.2 (0.1)	シャツ・セーター・下着類 7.8% 家庭用耐久財 4.4% 他の光熱(灯油) 4.3%	果物 -12.1% 教養娯楽用耐久財 -9.1% 教育 -1.4%	99.9 (0.1)	100.3 (0.1)	99.9 (0.2)		
5月	100.2 (0.0)	果物 3.7% 医薬品・健康保持用摂取品 2.9% 保健医療用品・器具 1.7%	野菜・海藻 -5.4% 家庭用耐久財 -3.4% 菓子類 -2.3%	99.9 (0.0)	100.3 (0.0)	99.9 (0.0)		
6月	100.0 (-0.2)	教養娯楽用耐久財 4.3% 野菜・海藻 3.8% 寝具類 3.1%	家庭用耐久財 -3.6% 果物 -3.5% 他の光熱(灯油) -2.1%	99.7 (-0.2)	100.0 (-0.3)	99.7 (-0.2)		
7月	100.1 (0.1)	果物 4.4% 交通 1.7% 教養娯楽サービス 1.4%	衣料 -4.3% シャツ・セーター・下着類 -3.3% 他の被服類 -2.9%	99.7 (0.0)	100.1 (0.1)	99.7 (0.0)		
8月	100.4 (0.3)	家事雑貨 4.1% 魚介類 3.2% 果物 3.0%	シャツ・セーター・下着類 -3.4% 教養娯楽用品 -1.4% 油脂・調味料 -0.8%	99.9 (0.1)	100.5 (0.4)	99.9 (0.1)		
9月	100.4 (0.0)	野菜・海藻 6.9% シャツ・セーター・下着類 6.5% 他の被服類 4.3%	果物 -13.2% 家庭用耐久財 -4.0% 家事雑貨 -2.5%	99.9 (0.0)	100.6 (0.0)	99.9 (0.0)		
10月	100.2 (-0.2)	野菜・海藻 6.2% 家事用消耗品 2.7% 他の被服類 2.0%	教養娯楽用耐久財 -16.8% 家庭用耐久財 -3.3% 寝具類 -3.3%	100.0 (0.1)	100.3 (-0.2)	100.0 (0.1)		
11月	99.7 (-0.6)	果物 5.0% 油脂・調味料 1.6% 電気代 0.9%	野菜・海藻 -13.0% 他の光熱(灯油) -3.8% 教養娯楽サービス -3.6%	99.4 (-0.6)	99.7 (-0.7)	99.3 (-0.7)		
12月	99.8 (0.1)	果物 5.4% 衣料 2.0% 身の回り用品 1.8%	教養娯楽用耐久財 -5.2% 寝具類 -2.8% 菓子類 -2.1%	99.4 (0.0)	99.8 (0.1)	99.4 (0.1)		

表3 三重県の総合指数・対前年同月比と主な変動費目

月	総合指数 (対前年同 月比 (%))	上昇した 主な費目 (対前年同月比)		下落した 主な費目 (対前年同月比)		(参考)		
						全国総合指数 (対前年同月 比(%))	持家の帰属家賃を 除く総合 (対前年同月比(%))	
							三重県	全国
1月	99.7 (-0.4)	たばこ 38.3% 果物 19.1% 他の光熱(灯油) 17.0%	教養娯楽用耐久財 -25.5% 授業料等 -14.3% 家庭用耐久財 -11.5%	99.5 (-0.6)	99.7 (-0.3)	99.5 (-0.6)		
2月	99.9 (-0.1)	たばこ 38.3% 他の光熱(灯油) 17.7% 果物 16.7%	授業料等 -14.3% 教養娯楽用耐久財 -12.1% 家庭用耐久財 -12.0%	99.5 (-0.5)	99.9 (0.0)	99.5 (-0.6)		
3月	100.1 (-0.1)	たばこ 38.3% 他の光熱(灯油) 24.1% 家事雑貨 9.3%	教養娯楽用耐久財 -19.9% 授業料等 -14.3% 家庭用耐久財 -14.1%	99.8 (-0.5)	100.2 (0.0)	99.8 (-0.6)		
4月	100.2 (0.0)	たばこ 38.3% 他の光熱(灯油) 23.3% 家事雑貨 9.7%	教養娯楽用耐久財 -23.7% 家庭用耐久財 -9.3% 穀類 -5.8%	99.9 (-0.4)	100.3 (0.1)	99.9 (-0.5)		
5月	100.2 (0.0)	たばこ 38.3% 他の光熱(灯油) 23.5% 家事雑貨 9.9%	教養娯楽用耐久財 -27.3% 家庭用耐久財 -9.8% 他の被服類 -6.7%	99.9 (-0.4)	100.3 (0.1)	99.9 (-0.4)		
6月	100.0 (-0.1)	たばこ 38.3% 他の光熱(灯油) 20.3% 家事雑貨 11.2%	教養娯楽用耐久財 -22.3% 果物 -12.9% 家庭用耐久財 -10.6%	99.7 (-0.4)	100.0 (-0.1)	99.7 (-0.4)		
7月	100.1 (0.5)	たばこ 38.3% 他の光熱(灯油) 21.3% 家事雑貨 8.8%	教養娯楽用耐久財 -20.5% 家庭用耐久財 -8.6% 他の被服類 -5.2%	99.7 (0.2)	100.1 (0.6)	99.7 (0.3)		
8月	100.4 (0.5)	たばこ 38.3% 他の光熱(灯油) 21.7% 家事雑貨 10.7%	教養娯楽用耐久財 -13.7% 家庭用耐久財 -8.2% 他の被服類 -5.2%	99.9 (0.2)	100.5 (0.6)	99.9 (0.2)		
9月	100.4 (0.5)	たばこ 38.3% 他の光熱(灯油) 19.8% 家事雑貨 7.6%	果物 -14.5% 家庭用耐久財 -13.9% 教養娯楽用耐久財 -12.8%	99.9 (0.0)	100.6 (0.5)	99.9 (0.0)		
10月	100.2 (-0.1)	他の光熱(灯油) 18.1% 魚介類 6.0% 肉類 5.4%	教養娯楽用耐久財 -26.7% 果物 -13.8% 家庭用耐久財 -13.6%	100.0 (-0.2)	100.3 (-0.1)	100.0 (-0.2)		
11月	99.7 (-0.1)	他の光熱(灯油) 13.8% 肉類 6.6% 電気代 6.3%	教養娯楽用耐久財 -24.3% 家庭用耐久財 -13.5% 果物 -8.5%	99.4 (-0.5)	99.7 (-0.1)	99.3 (-0.6)		
12月	99.8 (0.1)	他の光熱(灯油) 14.1% 電気代 7.1% 肉類 6.5%	教養娯楽用耐久財 -28.2% 家庭用耐久財 -11.5% 果物 -6.0%	99.4 (-0.2)	99.8 (0.1)	99.4 (-0.2)		

図2 月別の動向 平成22年=100



3 費目別指数の動き

平成23年平均の三重県消費者物価指数は、光熱・水道が上昇したことなどにより、全体では前年に比べ0.1%の上昇となりました。10大費目別に前年と比較すると、食料、光熱・水道、交通・通信、諸雑費が上昇し、住居、家具・家事用品、保健医療、教育、教養娯楽が下落しました。(図3、表4、図4)

(1) 食料

食料は100.2となり、前年に比べ0.3%の上昇でした。内訳をみると、前年に比べ上昇したのは、魚介類が1.6%、肉類が4.2%、乳卵類が0.9%、調理食品が3.4%、飲料が0.5%などでした。

一方、下落したのは、穀類が3.4%、野菜・海藻が1.3%、果物が1.4%、油脂・調味料が1.0%、菓子類が0.6%、酒類が1.0%、外食が0.2%などでした。

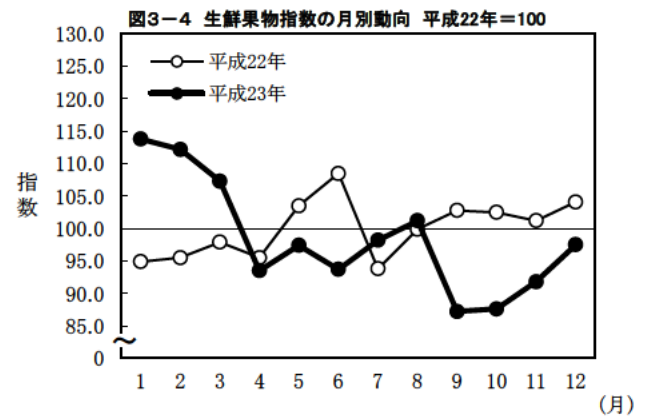
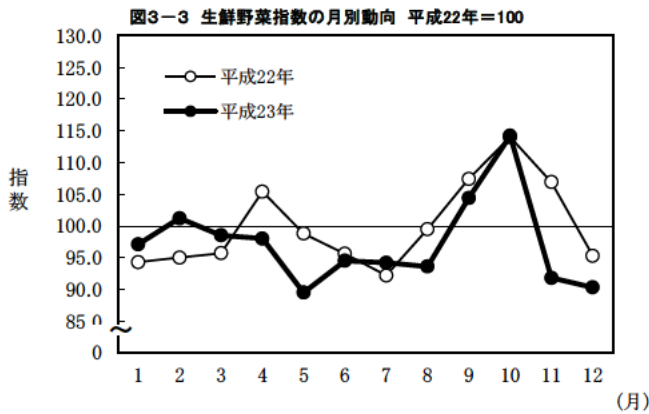
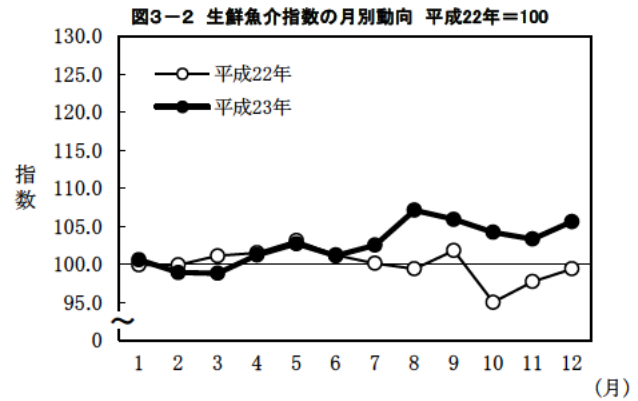
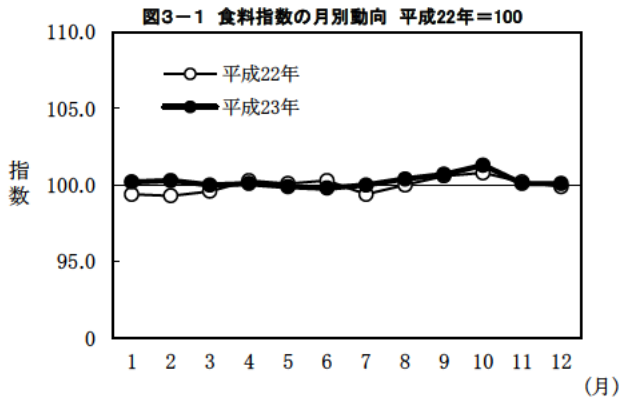
生鮮食品についてみると、生鮮魚介は年平均が102.7となり、対前年比は2.6%の上昇でした。

生鮮野菜は、97.3となり、対前年比は2.7%の下落でした。

生鮮果物は、98.5となり、対前年比は1.6%の下落でした。

表4-1 食料の中分類指数と対前年比

中分類	指数：平成22年平均=100		
	平成22年平均	平成23年平均	対前年比(%)
食料	100.0	100.2	0.3
穀類	100.0	96.6	-3.4
魚介類	100.0	101.5	1.6
生鮮魚介	100.0	102.7	2.6
肉類	100.0	104.2	4.2
乳卵類	100.0	100.9	0.9
野菜・海藻	100.0	98.7	-1.3
生鮮野菜	100.0	97.3	-2.7
果物	100.0	98.6	-1.4
生鮮果物	100.0	98.5	-1.6
油脂・調味料	100.0	99.0	-1.0
菓子類	100.0	99.4	-0.6
調理食品	100.0	103.4	3.4
飲料	100.0	100.5	0.5
酒類	100.0	99.0	-1.0
外食	100.0	99.8	-0.2



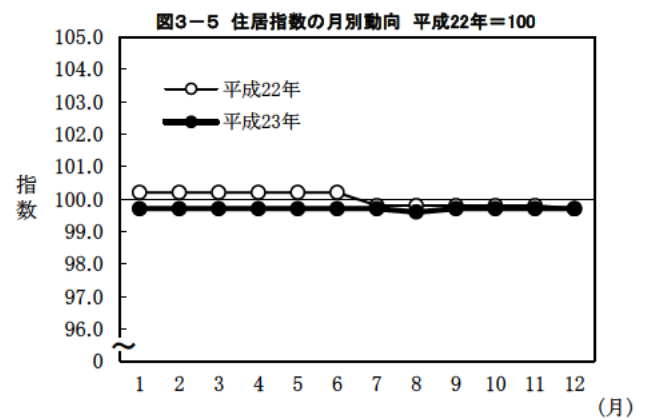
(2) 住居

住居は99.7となり、前年に比べ0.3%の下落でした。

内訳をみると、家賃が0.3%の下落、設備修繕・維持が0.2%の下落でした。

表4-2 住居の中分類指数と対前年比

中分類	指数：平成22年平均=100		対前年比(%) 平成23年平均
	平成22年平均	平成23年平均	
住居	100.0	99.7	-0.3
持家の帰属家賃を除く住居	100.0	99.7	-0.3
家賃	100.0	99.7	-0.3
持家の帰属家賃を除く家賃	100.0	99.3	-0.7
設備修繕・維持	100.0	99.8	-0.2



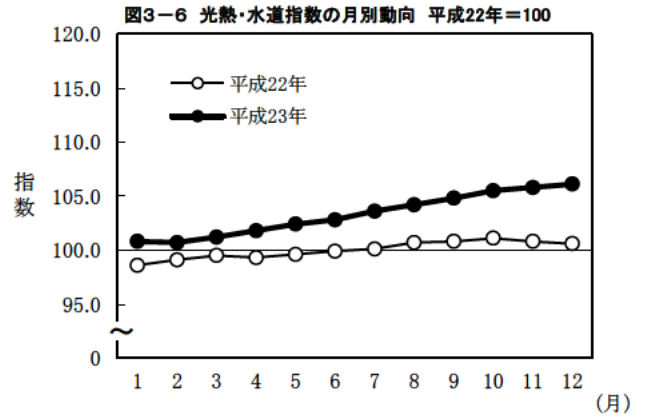
(3) 光熱・水道

光熱・水道は103.3となり、前年に比べ3.3%の上昇でした。

内訳をみると、電気代が3.0%の上昇、ガス代が2.1%の上昇、他の光熱（灯油）が19.6%の上昇、上下水道料が1.9%の上昇でした。

表4-3 光熱・水道の中分類指数と対前年比

中分類	指数：平成22年平均=100		
	平成22年平均	平成23年平均	対前年比(%) 平成23年平均
光熱・水道	100.0	103.3	3.3
電気代	100.0	103.0	3.0
ガス代	100.0	102.1	2.1
他の光熱	100.0	119.6	19.6
上下水道料	100.0	101.9	1.9



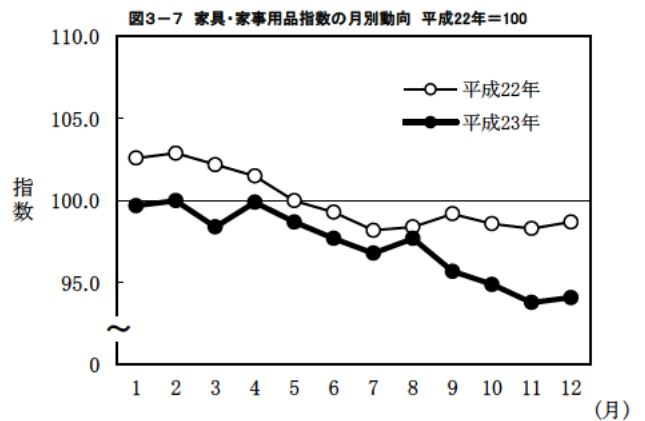
(4) 家具・家事用品

家具・家事用品は97.3となり、前年に比べ2.7%の下落でした。

内訳をみると、家庭用耐久財が11.4%の下落、室内装備品が0.5%の上昇、寝具類が2.7%の下落、家事雑貨が7.5%の上昇、家事用消耗品が1.3%の下落、家事サービスは1.5%の上昇でした。

表4-4 家具・家事用品の中分類指数と対前年比

中分類	指数：平成22年平均=100		
	平成22年平均	平成23年平均	対前年比(%) 平成23年平均
家具・家事用品	100.0	97.3	-2.7
家庭用耐久財	100.0	88.6	-11.4
室内装備品	100.0	100.5	0.5
寝具類	100.0	97.3	-2.7
家事雑貨	100.0	107.5	7.5
家事用消耗品	100.0	98.7	-1.3
家事サービス	100.0	101.5	1.5



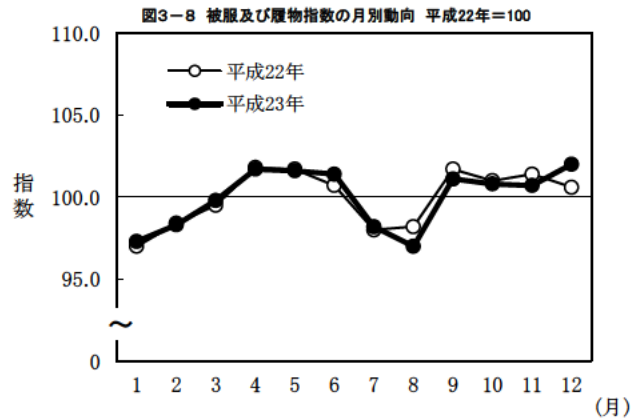
(5) 被服及び履物

被服及び履物は100.0となり、前年と同じでした。

内訳をみると、衣料が1.7%の下落、シャツ・セーター・下着類が3.9%の上昇、履物類が0.2%の下落、他の被服類が4.3%の下落、被服関連サービスが0.6%の上昇でした。

表4-5 被服及び履物の中分類指数と対前年比

中分類	指数：平成22年平均=100		
	平成22年平均	平成23年平均	対前年比(%) 平成23年平均
被服及び履物	100.0	100.0	0.0
衣料	100.0	98.3	-1.7
シャツ・セーター・下着類	100.0	103.9	3.9
履物類	100.0	99.9	-0.2
他の被服類	100.0	95.7	-4.3
被服関連サービス	100.0	100.6	0.6



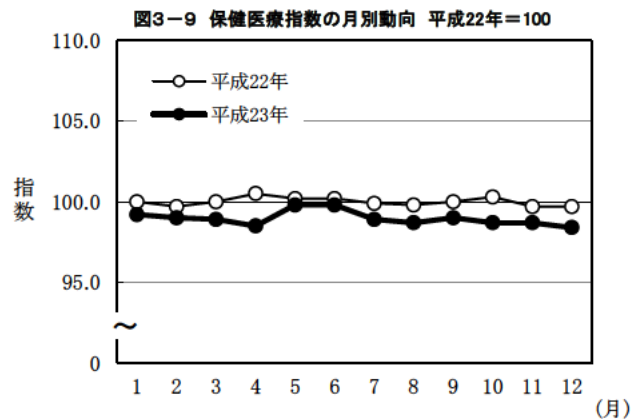
(6) 保健医療

保健医療は99.0となり、前年に比べ1.0%の下落でした。

内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品が2.4%の下落、保健医療用品・器具が1.0%の下落、保健医療サービスが前年と同じでした。

表4-6 保健医療の中分類指数と対前年比

中分類	指数：平成22年平均=100		
	平成22年平均	平成23年平均	対前年比(%) 平成23年平均
保健医療	100.0	99.0	-1.0
医薬品・健康保持用摂取品	100.0	97.6	-2.4
保健医療用品・器具	100.0	99.0	-1.0
保健医療サービス	100.0	100.0	0.0



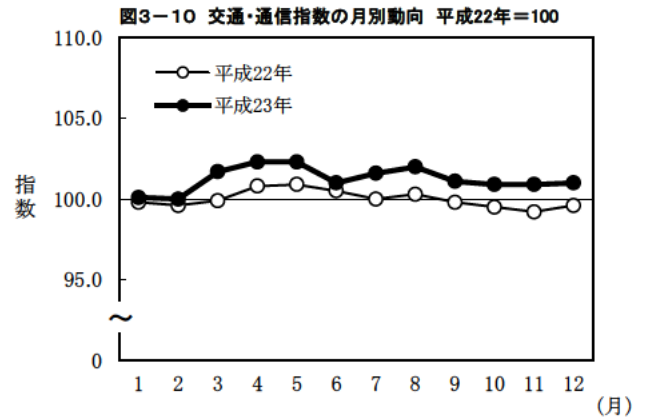
(7) 交通・通信

交通・通信は101.2となり、前年に比べ1.3%の上昇でした。

内訳をみると、交通が0.3%の上昇、自動車等関係費が2.1%の上昇、通信が0.7%の下落でした。

表4-7 交通・通信の中分類指数と対前年比

中分類	指数：平成22年平均=100		
	平成22年平均	平成23年平均	対前年比(%) 平成23年平均
交通・通信	100.0	101.2	1.3
交通	100.0	100.3	0.3
自動車等関係費	100.0	102.1	2.1
通信	100.0	99.3	-0.7



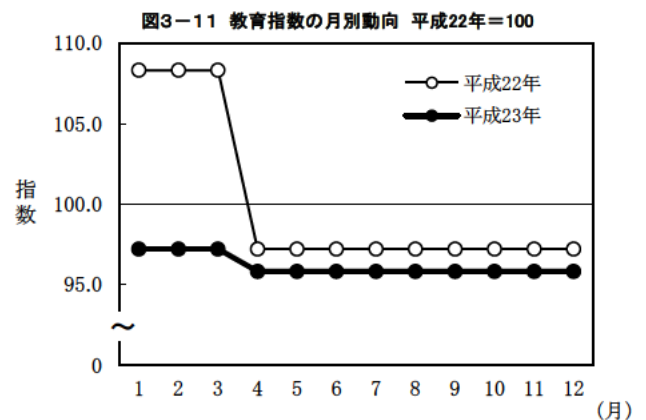
(8) 教育

教育は96.2となり、前年に比べ3.8%の下落でした。

内訳をみると、授業料等が5.5%の下落、教科書・学習参考教材が0.1%の上昇、補習教育は前年と同じでした。

表4-8 教育の中分類指数と対前年比

中分類	指数：平成22年平均=100		
	平成22年平均	平成23年平均	対前年比(%) 平成23年平均
教育	100.0	96.2	-3.8
授業料等	100.0	94.5	-5.5
教科書・学習参考教材	100.0	100.1	0.1
補習教育	100.0	100.0	0.0



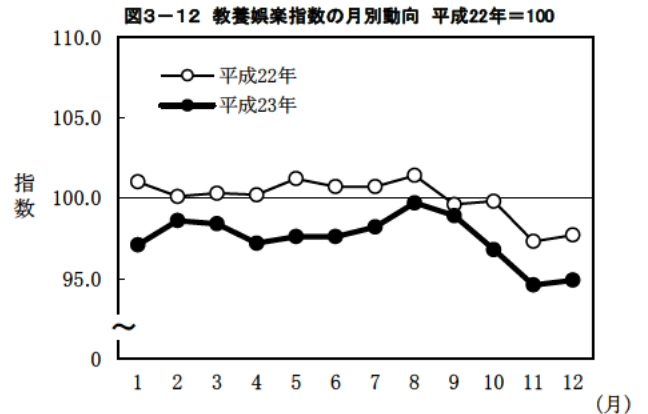
(9) 教養娯楽

教養娯楽は 97.5 となり、前年に比べ 2.5% の下落でした。

内訳をみると、教養娯楽用耐久財が 21.4% の下落、教養娯楽用品が 2.8% の下落、書籍・他の印刷物が 0.3% の上昇、教養娯楽サービスが 1.6% の上昇でした。

表 4-9 教養娯楽の中分類指数と対前年比

中分類	指数：平成22年平均=100		
	平成22年平均	平成23年平均	対前年比(%) 平成23年平均
教養娯楽	100.0	97.5	-2.5
教養娯楽用耐久財	100.0	78.6	-21.4
教養娯楽用品	100.0	97.2	-2.8
書籍・他の印刷物	100.0	100.3	0.3
教養娯楽サービス	100.0	101.6	1.6



(10) 諸雑費

諸雑費は 103.7 となり、前年に比べ 3.7% の上昇でした。

内訳をみると、理美容サービスは 0.1% の下落、理美容用品は 0.7% の下落、身の回り用品が 1.3% の下落、たばこが 26.2% の上昇、傷害保険料などの他の諸雑費が 5.5% の上昇でした。

表 4-10 諸雑費の中分類指数と対前年比

中分類	指数：平成22年平均=100		
	平成22年平均	平成23年平均	対前年比(%) 平成23年平均
諸雑費	100.0	103.7	3.7
理美容サービス	100.0	99.9	-0.1
理美容用品	100.0	99.3	-0.7
身の回り用品	100.0	98.7	-1.3
たばこ	100.0	126.2	26.2
他の諸雑費	100.0	105.5	5.5

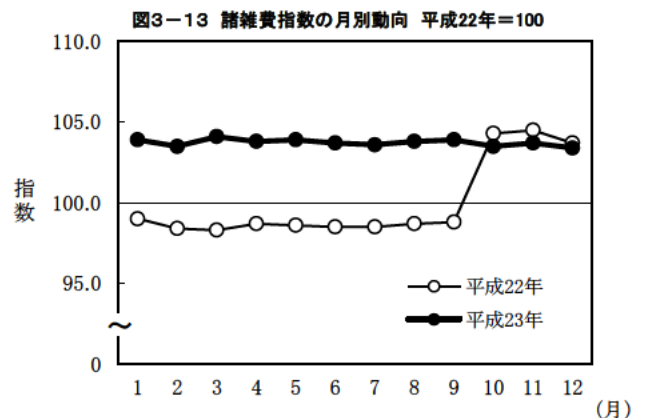
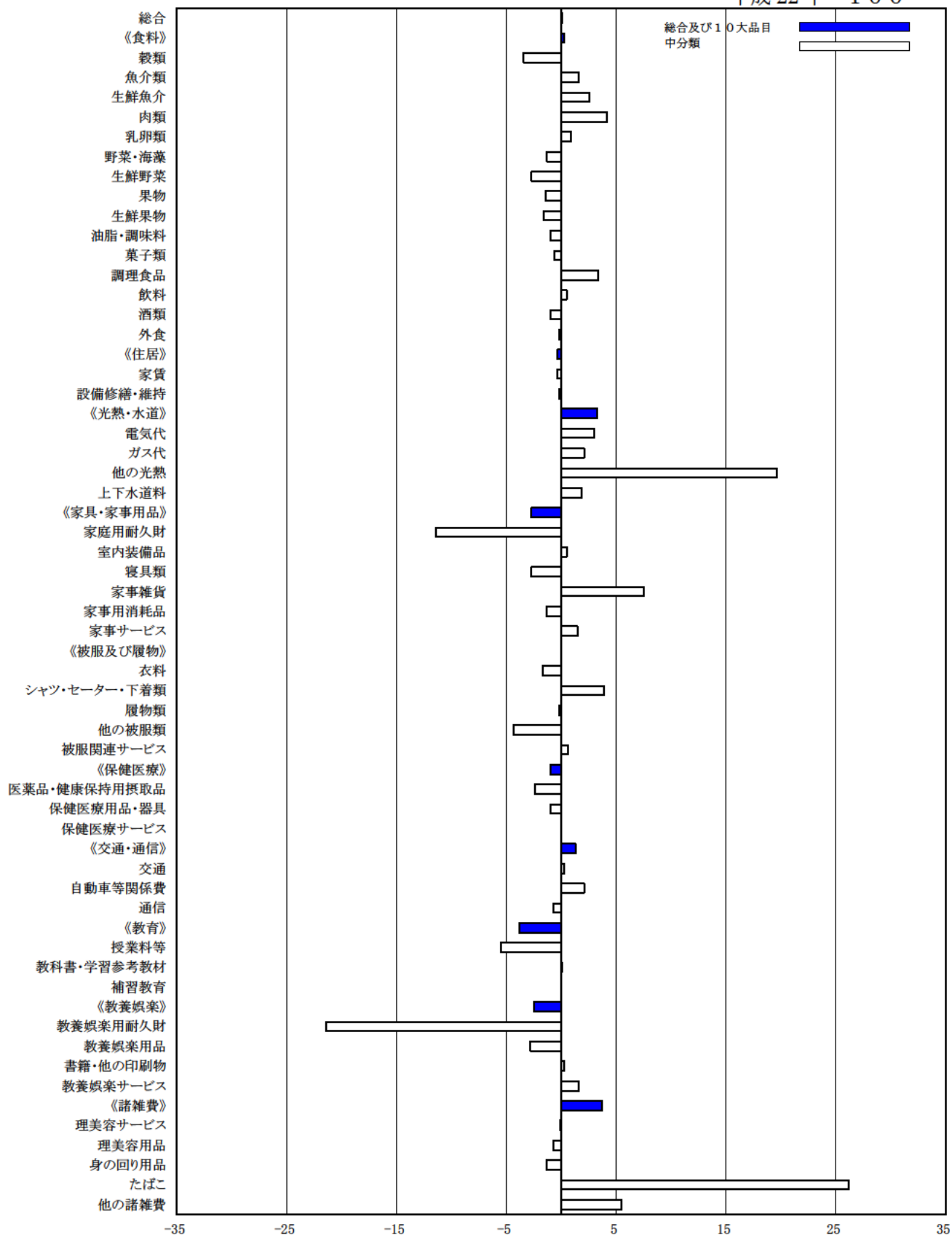


図4 費目別対前年比 (%)

平成22年=100



※ 二重括弧は10大費目を示しています。

4 各費目の総合指数に対する影響(寄与度、寄与率)

寄与度とは、その費目が消費者物価指数をどれだけ上下動させたかを示すもので各費目の合計が総合指数の上昇率と同じになるものです。

また、寄与率とは、総合の上昇率に占める各費目の寄与度（上昇率の割合）を100分比（各費目の寄与度（上昇率の割合）÷総合の上昇率×100）で表すものです。

平成23年三重県消費者物価指数の総合指数に影響を及ぼした寄与度を主な中分類別費目でみると、物価を押し上げる方向に働いた費目として、自動車等関係費（0.21）や、たばこ（0.13）、教養娯楽サービス（0.11）などが挙げられます。一方、物価を引き下げる方向に働いた費目としては、教養娯楽用耐久財（-0.35）、家庭用耐久財（-0.14）、授業料等（-0.13）などが挙げられます。各費目の合計の結果、全体の寄与度は0.06となりました。

（表5、図5）

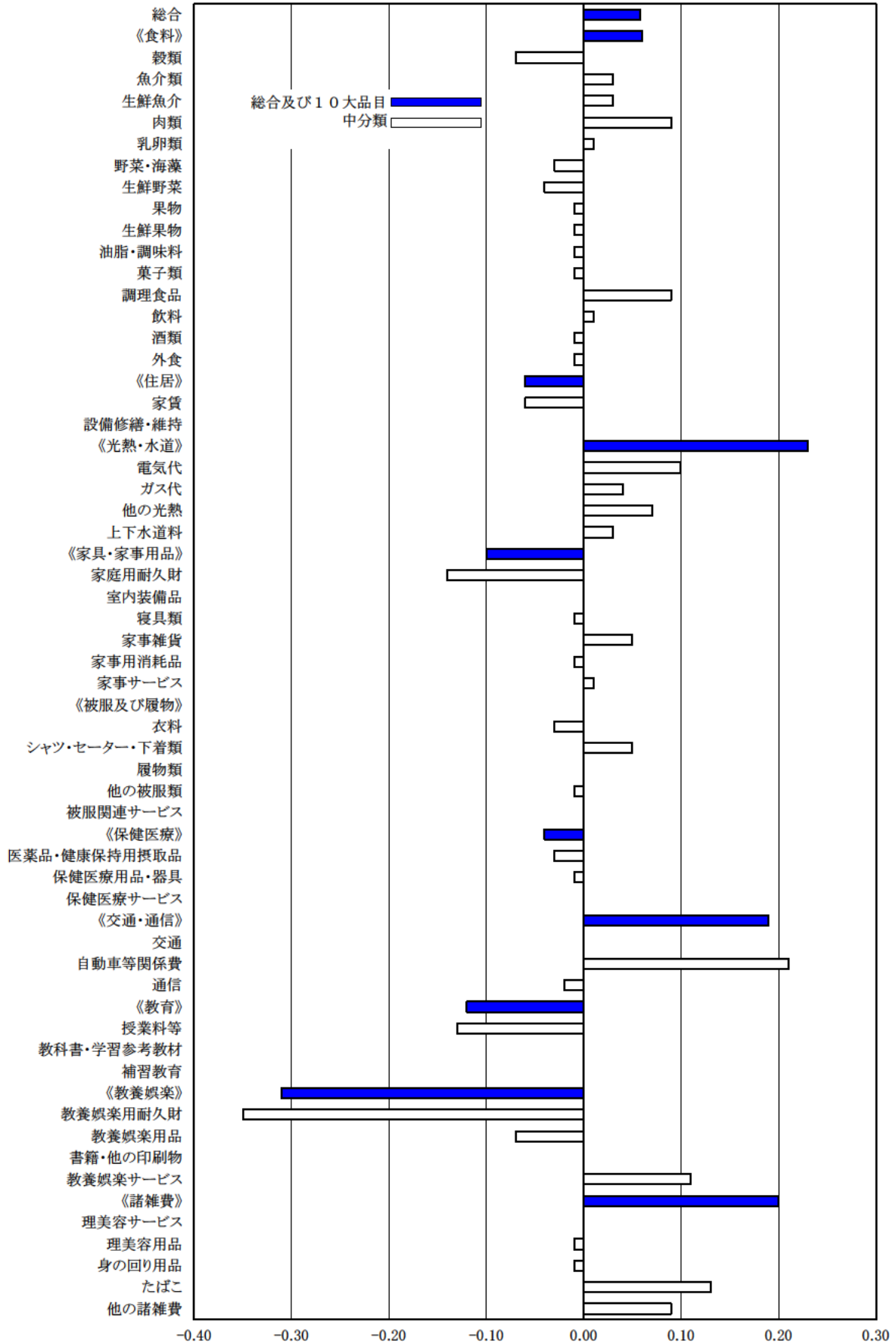
表5 中分類寄与度・寄与率

指数：平成22年平均＝100.0

	指 数		寄与度	寄与率(%)
	平成22年 平均	平成23年 平均	平成23年 平均	平成23年 平均
総合	100.0	100.1	0.06	100.0
持家の帰属家賃を除く総合	100.0	100.1	0.10	169.0
食料	100.0	100.2	0.06	107.2
穀類	100.0	96.6	-0.07	-127.9
魚介類	100.0	101.5	0.03	57.1
生鮮魚介類	100.0	102.7	0.03	57.7
肉類	100.0	104.2	0.09	149.9
乳卵類	100.0	100.9	0.01	16.0
野菜・海藻類	100.0	98.7	-0.03	-52.5
生鮮野菜	100.0	97.3	-0.04	-71.7
果物	100.0	98.6	-0.01	-22.7
生鮮果物	100.0	98.5	-0.01	-23.2
油脂・調味料	100.0	99.0	-0.01	-18.5
菓子類	100.0	99.4	-0.01	-24.7
調理食品	100.0	103.4	0.09	160.9
飲料	100.0	100.5	0.01	11.9
酒類	100.0	99.0	-0.01	-17.5
外食	100.0	99.8	-0.01	-21.7
住居	100.0	99.7	-0.06	-103.4
持家の帰属家賃を除く住居	100.0	99.7	-0.01	-24.4
家賃	100.0	99.7	-0.06	-104.8
持家の帰属家賃を除く家賃	100.0	99.3	-0.01	-21.8
設備修繕・維持	100.0	99.8	0.00	-7.2
光熱・水道	100.0	103.3	0.23	394.9
電気	100.0	103.0	0.10	167.3
ガスの光熱	100.0	102.1	0.04	70.2
他の光熱	100.0	119.6	0.07	114.0
上下水道料	100.0	101.9	0.03	47.7
家具・家事用品	100.0	97.3	-0.10	-163.4
家庭用耐久財	100.0	88.6	-0.14	-236.1
室内装備品	100.0	100.5	0.00	2.3
寝具類	100.0	97.3	-0.01	-11.0
家事雑貨	100.0	107.5	0.05	94.3
家事用消耗品	100.0	98.7	-0.01	-16.6
家事用サニタリー	100.0	101.5	0.01	9.3
被服及履物	100.0	100.0	0.00	-0.6
衣料	100.0	98.3	-0.03	-57.4
シャツ・セーター・下着類	100.0	103.9	0.05	80.2
履物	100.0	99.9	0.00	-1.2
他の被服類	100.0	95.7	-0.01	-25.1
被服関連サニタリー	100.0	100.6	0.00	2.6
保健医療	100.0	99.0	-0.04	-72.5
医薬品・健康保持用摂取品	100.0	97.6	-0.03	-57.4
保健医療用品・器具	100.0	99.0	-0.01	-13.2
保健医療用サニタリー	100.0	100.0	0.00	-0.3
交通・通信	100.0	101.2	0.19	328.5
自動車等関係費	100.0	100.3	0.00	7.6
自動車等関係費	100.0	102.1	0.21	363.6
通信	100.0	99.3	-0.02	-42.8
教育	100.0	96.2	-0.12	-209.8
授業料	100.0	94.5	-0.13	-214.6
教科書・学習参考教材	100.0	100.1	0.00	0.1
補習教育	100.0	100.0	0.00	-0.3
教養娯楽	100.0	97.5	-0.31	-524.2
教養娯楽用耐久財	100.0	78.6	-0.35	-597.7
教養娯楽用品	100.0	97.2	-0.07	-117.5
書籍・他の印刷物	100.0	100.3	0.00	6.0
教養娯楽用サニタリー	100.0	101.6	0.11	183.2
諸雑費	100.0	103.7	0.20	347.5
理美容サニタリー	100.0	99.9	0.00	-1.9
理美容用品	100.0	99.3	-0.01	-17.9
身の回り用品	100.0	98.7	-0.01	-14.0
たばこ	100.0	126.2	0.13	228.8
他の諸雑費	100.0	105.5	0.09	153.5

注・寄与度の数値は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

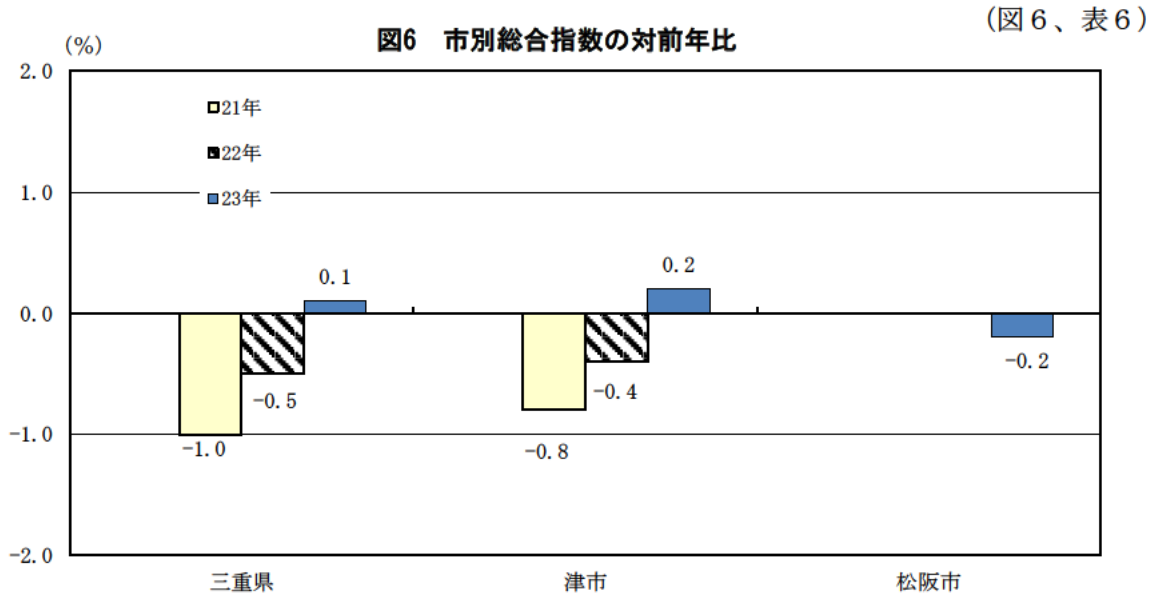
図5 消費者物価指数の対前年比に対する寄与度 平成22年=100



※ 二重括弧は10大費目を示しています。

5 各市の動き

県内2市の消費者物価指数の動きを対前年比で見ると、津市で0.2%、松阪市で-0.2%^{*}でした。



*時系列での変動を比較するため、平成11年以降の旧合併特例法による合併前の旧市地域での調査としています。

松阪市は平成22年からの調査のため、平成21年と平成22年の対前年比は表示していません。

(内訳)

2市ともに食料、光熱・水道、交通・通信、諸雑費が上昇し、家具・家事用品、保健医療、教育、教養娯楽が下落しました。

市別にみると、津市では、諸雑費が3.3%の上昇で10大品目中最大の上昇幅となっています。また、教育が4.5%の下落で10大品目中最大の下落幅となっています。

松阪市では諸雑費が3.9%の上昇で10品目中最大の上昇幅となっています。また、家具・家事用品が6.7%の下落で10大品目中最大の下落幅となっています。

表6 都市別10大費目別対前年比

(単位: %)

	総 合	除 く 持 家 の 帰 属 家 賃 を 合 合	食 料	住 居	光 熱 ・ 水 道	家 具 ・ 家 事 用 品	被 服 及 び 履 物	保 健 医 療	交 通 ・ 通 信	教 育	教 養 娯 楽	諸 雑 費
津市	0.2	0.2	0.3	-0.1	2.7	-1.0	-0.7	-0.9	1.3	-4.5	-1.9	3.3
松阪市	-0.2	-0.2	0.4	0.0	2.2	-6.7	-1.6	-0.4	1.2	-3.3	-3.2	3.9